

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	豊川保育園(1歳児クラス 15名)
年間テーマ	色で遊ぼう! ~様々な素材に興味をもち、好奇心を育てる~
活動日	1月

### <テーマの設定理由>

普段から、大人が描いた鬼のイラストに布玉をぶつけて遊ぶ姿がある。節分にむけて、鬼の真似をして遊びたいと思い、鬼の帽子を作ろうと考える。帽子には角の周りに髪の毛に見立てて、今回は手先を使った遊びを取り入れたいと思い、お花紙でちぎって細かくした物を小さく丸めて付けることにした。



### <活動のために準備した素材・道具・環境設定>

お花紙(赤・緑・黄色・ピンク・水色) ビニール袋  
のり あらかじめ作った長方形の厚紙(角に見立てた画用紙がついたもの)

### <活動の内容>

まずは、お花紙をちぎる。あまり長い間座っていると集中できないのではないかと考え、まずは自由にちぎったり、投げたり、丸めたりして遊ぶことにした。それぞれにお花紙を渡すと、「赤がいい」「ピンクがいい」と色を選び、言葉で伝えられる子が多い。両手で引っ張る子もいるが、大人が親指と人差し指でつまんで細かく割く姿を見て真似る。「それーっ」と投げて、上から降らして遊ぶ子もいる。ひとしきり遊んだ後、ぎゅっと丸めてビニール袋に入れようと伝える。その後、椅子に座り厚紙ののりをつける。

### <振り返りによって得た先生の気づき・総括>

ちぎりやすいお花紙で普段から遊んでいる為、今回もみんな意欲的にちぎっていた。丸めることに関心が薄い子や、握る感覚が分からない子もいた為、大人と一緒に固めた。

今回は色をテーマにしているが、前提に乳児期にさまざまな素材に触れることをねらいとしている。やってみたいと思うような環境を考えるが、その上でやらない選択も含めてその子の経験である。友だちの様子を見たり、何かのきっかけでやってみようと思ったり、一人ひとりの変化を感じることが面白い。その中で、色の名前を覚えたり、好きな色ができたり、塗り分けたり、月齢や経験、興味関心によって、一人ひとり違う育ちが見られた。様々な素材を経験する中で、様々な発見があり、その発見が喜びと感ぜられるような言葉かけをしていきたいと思う。

